

福岡県民の皆様へ

福岡県薬剤師会では、福岡県とともに県民の皆様の安全安心な薬物療法を実現するため、各種事業を行なっております。令和元年度は、「患者から選択される薬局のための機能強化事業」として「多職種連携協議会を設置し、医療提供サイド及び患者サイドの両面から調査分析を行うことにより薬局が機能強化すべき課題を明確にし、効果的・効率的な方策の検討を行う事業」を実施いたしました。

今後は、患者さんのニーズを踏まえた安全な薬物療法の提供のあり方について、薬局が取り組むべき課題を明確にすることにより、さらに、各地域の薬局における機能強化に向けた取組を促進してまいります。

## 患者から選択される薬局のための機能強化事業 ～トレーシングレポートの解析と患者ニーズの抽出～

### 現状・課題

- ・トレーシングレポートは服薬期間を通じた薬学的管理に重要なツールであり、一般的にファックス等を利用してやりとりが行われている。本県では、昨年度、トレーシングレポートを共有するシステムを構築し、31年度は県内全地区での利用が可能となった。
- ・一方で、医療提供側が取り組んでいる安全な薬物療法の提供が、患者自身のメリットとして感じられていない。
- ・患者に選択されるかかりつけ薬剤師・薬局へと機能強化するためには、医療提供側の取組により患者のメリットにつながっている具体例、及び患者側が求めている薬局像を調査分析し、今後の方策を検討する必要がある。

### 事業概要

多職種連携協議会を設置し、医療提供サイド及び患者サイドの両面から調査分析を行うことにより薬局が機能強化すべき課題を明確にし、効果的・効率的な方策の検討を行う。

#### ① 多職種連携協議会の設置

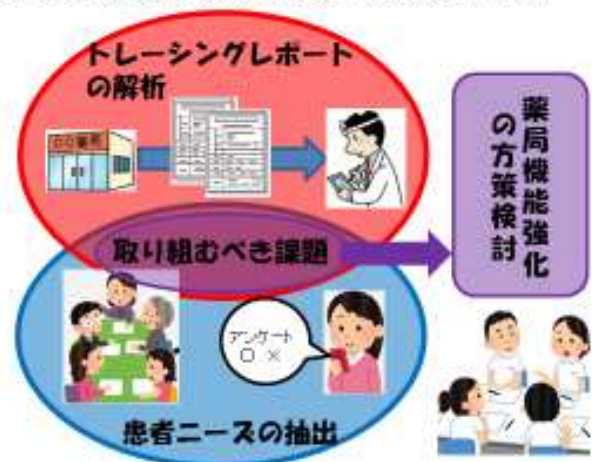
- 医師、薬剤師等による協議会を設置・開催する。(3回)

#### ② トレーシングレポートの解析

- これまでに医療機関等へ情報提供したトレーシングレポートを収集して分析する。(約300件)
- トレーシングレポート集(分析結果・優良事例等)を作成し、医療機関及び薬局で情報共有することで、トレーシングレポートの効果的な活用を促進する。

#### ③ 患者ニーズの抽出

- 地域住民に対しグループインタビューを行い、地域の患者が求める薬局像について具体例を収集する。  
対象者: 10名×4地区 = 40名
- グループインタビューから得られた情報に基づき、広く県民にアンケートを実施し、量的な検証を実施する。  
対象者: 約2,000名



### 成果・事業展開

患者のニーズを踏まえた安全な薬物療法の提供のあり方について、薬局が取り組むべき課題を明確にすることにより、各地域の薬局における機能強化に向けた取組を促進する。